

児童発達支援(親子通所) 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年3月29日

事業所名:大田区立こども発達センターわかばの家 児童発達支援事業所

保護者等数(児童数) 30

回収数 29

割合 96.7%

区 分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	1	0	0	・走り回りたいお子さんがいると少し危ないこともありましたが、ちょうど良い広さだと思います。 ・スペースはあると思います。 ・十分です。	・じっくり遊具や玩具で遊びたい子どもだけでなく、友だちと走りたい子どももいるので、走るコーナーを設定するなどし、安全に遊べるように配慮していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	28	0	0	1	・配置数は「はい」ですが、専門性は他を知らないのではありません。 ・とても素晴らしい先生ばかりでした。 ・適切だと思います。 ・多くのスタッフがいて安心。	基準以上の職員配置がされています。専門職は非常勤で心理士、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、音楽療法士などの配置があり、チームアプローチで療育を行っています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	27	1	0	1	・写真などで示してくれています。	・引き続き、環境への配慮を行っていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28	1	0	0	・古いながらもいつも清潔にしている。 ・トイレが寒く、冬は水しかでないのでつらい。 ・とてもきれいで活動しやすい環境でした。 ・問題ないと思います。 ・職員の方の配慮は完璧ですが、イスやテーブルや空調(3F)など古くなり、修繕しながら使っており、少しずつ新調していけないものかと思っています。	・古い建物で、不備が出やすいですが、引き続き、環境保全に努めていきます。 ・冬場の手洗いについて、特に必要な方にはお湯の用意も考えていきます。 ・イスやテーブルは数が多いので、毎年少しずつ新調しています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※2が作成されているか	27	2	0	0	・こちらの意見をよく聞いて下さり、作成して下さいました。 ・作成されていると思います。 ・親身になってくれて、ちゃんとつくってくれてうれしかったです。	・引き続き、子どもと保護者のニーズや課題を分析しながら、対応していきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26	2	0	1	・設定して下さいましたと思います。 ・設定されています。	児童発達支援ガイドラインを職員全体で見直し、子どもの発達を客観的に捉え、具体的に支援を設定できるよう努めていきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24	4	0	1	・しっかり行って頂きました。 ・行われていると思います。 ・集団グループなので個々は難しいと思う。 ・集団なので全てとはいかない。	集団活動の場面を使いながら、個々に合わせた支援をすることを大事にしています。個々の支援が難しいと思われたご意見に対しては、保護者への説明が不十分であった事も考えられるので、今後より丁寧な説明を心がけていきます。
	8 活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されているか	26	2	0	1	・週2回あるにも関わらず、いつも新鮮である。自宅で出来ないようなプログラムを用意して頂いている。 ・様々なプログラムを設定して下さい、親子でとても楽しかったです。 ・毎回変わっています。 ・音楽療法は内容が固定化気味に感じる。	・引き続き、子ども達の発達の状態を見極め、どの子どもも楽しめる課題遊びや設定の仕方を工夫していきます。 ・音楽療法については、1年を通して子どもの気持ちや、取り組む姿勢の変化などを追っていくという点では、ある程度子ども自身にも見通しが持てる内容のものが良いと考えています。何をねらいとして行っているのか、保護者への伝え方も検討していきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	3	16	5	・機会はないです。 ・ない。	親子通所事業では、事業の性質上、このような機会を設けることは難しいと考えています。

区 分		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保 護 者 へ の 説 明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	29	0	0	0	・説明はありました。 ・先生がきちんと話してくれました。	引き続き、丁寧な説明を心がけていきます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	29	0	0	0	・説明はあったと思います。 ・先生がきちんと話してくれました。	・子どもの現状と保護者のニーズを把握し、支援計画を作成しています。内容を保護者に説明し、同意を得て支援を進めています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング※4等）が行われているか	22	1	2	4	・懇談会や、常にアドバイスなどして下さいました。 ・忙しいのによくみてくれて助言をくれます。 ・専門の先生による講座は充実していると思います。通所している子どもの多くに有効と思われる関わり方（ほめ方、叱り方など）のアドバイスを全体にしていたいただけると、より助かると思います。	・小児神経科医や、各専門職による勉強会、音楽療法及び個別指導等を通して、保護者への支援を行っています。 ・引き続き、専門性のある支援を提供していけるよう心がけていきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	27	2	0	0	・連絡帳や口頭でたくさんコミュニケーションをとって下さいました。 ・できています。	・日々の様子や、連絡帳の情報などから、子どもの発達の状況やかかわり方を保護者と確認できるように努めています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	1	0	0	・親切にして下さいました。 ・行われています。	・面談は年2回を基本に行っています。その他、必要に応じて面談や電話での相談も行っています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	5	3	7	・連携はないと思います。 ・保護者同士の交流や情報交換の場はもっとあればありがたいです。 ・保護者同士で話す時間はない。	・保護者同士の交流の場として、月1回のホール開放を計画しています。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	29	0	0	0	・親身になって、対応して下さいました。 ・できていると思います。	・保護者からの相談や申し入れは内容によって、グループの療育者、専門職、小児神経医師（診察）など、いろいろな職種が、できるだけ早く対応するように心掛けています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	1	0	0	・なされています。 ・伝え方とかやさしくおしえてくれます。	・子ども達には手本を示したり、視覚的情報を使って、分かりやすく伝え、その上で、個々の気持ちを汲み取るようにしています。また保護者にも、こちらの意図が伝わっているか確認しながら進めています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21	1	0	7	・行事予定は発信されています。 ・見ていない。	・グループの活動予定は、事前にプリントで配布しています。引き続き、わかりやすい情報発信や保護者への伝え方を工夫していきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	26	1	0	2	・注意されていると思います。	・個人情報の取り扱いについては、契約会で説明しています。 ・個人情報を取り扱い状況が出てきた場合は、保護者に説明をして、書面にて同意を得ています。 ・情報セキュリティーマニュアルの整備のもとに、職員には全体会議で周知を図るなどし、取扱いには日頃から十分注意しています。

区 分		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非 常 時 等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	29	0	0	0	・訓練はないですが、説明あり。	・現在のところ、災害発生時の対応が中心になっているため、昨今の状況を踏まえ、その他の対応についても保護者に周知できるよう努めてまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	29	0	0	0	・行われていました。 ・訓練しています。	・避難訓練は日程を事前に知らせ保護者にも参加してもらいながら、安全に過ごせるように努めています。
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	24	3	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・とても喜んで行き、自宅でもマネごとをします。 ・楽しみにしており、着くなりいつも教室に走って行きます。 ・年度の後半に近づくにつれ楽しんでいました。 ・反応がないのでわかりません。 ・大好きすぎて終了がこわいです。 ・言葉では理解してるか不明だが、場所へ着くとわかっている様子。 ・今だによくわからない。 ・「せんせいいく！」と本人も楽しんで通っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子ども達が安心して楽しめる活動を考えていきます。 ・「子どもが楽しみにしているかどうかかわからない」と保護者が感じている状況については、保護者の理解を促していくことも含めて、今後も丁寧な関わりをしていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	25	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝してもしきれません。 ・満足すると共にとても感謝しています。 ・大変満足しています。 ・子ども同士の活動をしてほしかった。 ・ほぼ満足しているが、もう少し早い時期に知りたかった情報等があった。 ・本当に助けられています。 ・満足だが、幼稚園を受けず、単独通所を申込みしたが入れなかった。正直、それはショックでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の情報など、勉強会を通して情報提供を図っていますが、必要に応じて個別に質問や相談を受けられることも、伝えていきます。 ・子どもには療育が必要と思っても親子通所後、すぐに単独通所に入れない場合もあります。 ・待機している期間をどのように過ごしていったらよいのか一緒に考えたり、相談に応じたりする体制を整えて、しっかりとサポートしていきます。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。